大阪狭山市市民活動支援センター情報誌

Vol. Ⅳ

News Letter Express

June,2006
News Release
From Osakasayama

2006 年6月号

Contents

★ 2面

特集 Ⅰ
市民活動支援センター
活性化事業

市民活動とことんディスカッション
本当に市民活動は、街を変えるか
関西国際交流団体協議会
事務局長　有田典代さん

★ 3面

特集 Ⅱ
市民公益活動促進補助金の公開プレゼンテーション

・18 年度申請発表会
・17 年度事業成果発表

公益活動促進基金に寄付しませんか

★ 4 面

情報ステーション

市民活動団体が利用できるチラシ置き場・ポスター掲示場所の調査

市民活動に関連する市の委員募集情報

平成 17 年度市民活動支援センター活性化事業

市民活動とことんディスカッション

本当に市民活動は、街を変えるか

平成 18 年 3 月 26 日開催

司会＆コーディネーター
NPO 法人南大阪サポートネット

関西国際交流団体協議会
事務局長
有田典代さん

■狙い

市民活動支援センターが設置され 5 年目に入ったこの機会に、市民が真に生きがいをもって豊かに暮らせる社会や街づくりを進めるために何が必要なのか、見直す時に来ています。

行政と市民の協働というキーワードのもと、市民活動の現場で起こるさまざまな問題や課題を浮き彫りにし、いっそうの市民活動活性化に向けて環境づくりや、市民と行政との協働のあり方についてなどを明確にすることで、市民活動が街づくりに果たす役割をあらためて考えるために実施しました。

参加者は 19 団体と市民で総勢 32 名でした。

■概要

仲間づくりのアイスブレーキングで、バースデーチェーンや 4 つの窓の手法を使い、自由な雰囲気で議論を進めるための環境づくりから始まりました。

続いて、参加各団体の PR やその活動上の課題を洗い出し、その後グループ討議に移る予定でしたが、進行上の都合から、全体ディスカッションを実施しました。

残念ながら時間の制約から、課題解決に向けた議論には至りませんでした。

■明らかになった問題点と課題

① 子どもや若者の参加が少ない
② 無関心層市民の参加促進が必要
③ NPO への理解・NPO への信頼
④ 地域間の温度差
⑤ 人材の確保
⑥ 市民と行政の役割分担
⑦ 他分野・他セクター間の連携
⑧ 継続的な活動をするための財源確保
⑨ 既存団体と NPO の関係

などの問題が提起された。

■成果

市内で活動する主な市民団体のリーダが一堂に会し、各団体の活動課題や、市民活動の現状に対する評価を聞くことができた。

事業の実施を通じて、センターへの期待感が高まった。事業の企画･運営を市内で活動する市民団体に委託したことで、異なる観点から企画でき、参加者に支援センターと市民団体とのコラボが披露できた。

■支援センター活動への反映

① このような企画を継続して実施していく
② 市民活動団体の協議会組織を設置する
③ 地域団体協議会の必要性の検討
④ 今回提起された 9 つの課題の解決などの課題が残された。

市民活動支援センターでの行事

■市民公益活動促進補助金の公開プレゼンテーション

18 年度の申請は 4 月 3 日(月)で締め切り、応募総数は、13 団体 14 事業になりました。

その公開審査が4月 16 日(日)に行われました。

●申請団体（発表順）

大阪狭山市合唱連盟会、大阪狭山キジムナーの会、ふれあいコンサート実行委員会、邦楽コンサート実行委員会、あったかファミリー塾大阪狭山、大阪狭山市吹奏楽（管弦打）連盟、大阪狭山美術協会、さやまコミュニティクラブ、若駒会、NPO 法人ワークレッシュ、NPO 法人ＮＡＬＣ大阪狭山、大阪狭山市吹奏楽（管弦打）連盟、大阪狭山市食生活改善推進協議会、NPO 法人南大阪サポートネット

審査のようす

書類審査と公開プレゼンテーションによる審査結果は、協働事業評価部会から市民公益活動促進委員会を経て、5 月中に全ての申請事業について交付の可否を文書で通知します。

■市民公益活動促進補助金平成 17 年度交付事業報告会

5 月 21 日（日）支援センターで開催。次の団体から各事業の報告がありました。補助金確定総額は、一部の事業で計画の変更があったことから、2,520,000 円になりました。

団　体　名	補助金確定額
大阪狭山美術協会	400, 000
ESCORT･BLUE･OSAKASAYAMA	75, 000
大阪狭山市合唱連盟	100, 000
大阪狭山市吹奏楽(管弦打)連盟*	370, 000
大阪狭山混声合唱団	200, 000
ふれあいコンサート実行委員会	210, 000
邦楽コンサート実行委員会	350, 000
NALC 大阪狭山	170, 000
大阪狭山市吹奏楽(管弦打)連盟*	500, 000
NPO 法人日本ヒーリング音楽協会	145, 000
NPO 法人らくらく文化会議	0

＊1 団体で 2 事業を申請

公益活動促進基金に寄付しませんか

市民公益活動を進めるために、市民や事業者からの寄付金でつくる「大阪狭山市市民公益活動促進基金」を設けています。この基金は、市民などからの寄付金と同額を市も積み立てることで、市と市民が協働して市民活動の活性化のための資金的な支援を行う仕組みになっています。

あなたの寄付金が 2 倍になって、市民公益活動を進めるために使われます。

寄付金は、個人の場合は、所得税や住民税の寄付金控除の対象になります。また、事業所の場合は、寄付金額の全額を損金に算入することができます。

市民公益活動促進補助金の財源にも、この基金が使われています。

寄付の申し出は、市役所市民協働･生涯学習推進グループへ。

情報ステーション

チラシ置き場と掲示場所の調査

市民活動支援センターでは、市民や市民団体がチラシを置いたりポスターを掲示したりできる施設などの調査をしています。

調査の内容
掲示許可担当部署名
チラシ・ポスターの掲示種類（サイズ等）
設置スタンドの有無
掲示版の有無
掲示場所の概略と写真
備考　掲示内容の条件など
第一次調査箇所　市関連施設 市役所 公民館　図書館　コミュニティセンター ニュータウン連絡所　池尻体育館 総合体育館　SAYAKA ホール 市民ふれあいの里

6 月に第 2 次調査を実施予定で市内にある府の施設を含め１８ヶ所を調査します。
調査の結果は、1 次調査分は既に、市民活動支援センターで公表しています。今後の調査分も追加公表します。また、支援センターホームページに PDF 形式で結果を掲載しています。

～　編集後記　～

今号は、市民活動支援センター活性化事業として開催した「とことんディスカッション」と、市民公益活動促進補助金に関わる公開プレゼンテーション、事業報告会について掲載しました。今後は、市民活動の現場の情報を掲載していきたいと考えています。皆さんの活動情報をお寄せください。情報は、FAX または電子メールでお寄せください。ただし誌面の都合で編集する場合がありますのでご了承ください。

～委員募集情報～

問い合わせ　市民協働・生涯学習推進グループ

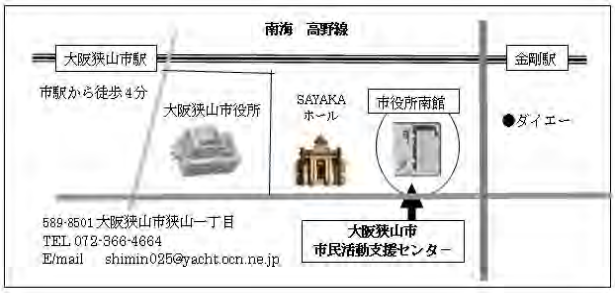
◆ 生涯学習推進計画検討委員会の委員

募集時期　6 月　**内容**　市民協働のまちづくりをさらに進めるため、その基盤となる生涯学習を進めるガイドラインとして平成 18 年度中に概ね 5 年間を見据えた推進計画をつくります　**募集人数**　5 人。報酬はありません。**資格**　平日の午前 9 時から午後 5 時 30 分の間に開く会議に参加できる人で生涯学習に関心ある市民

◆ 市民公益活動促進委員会の委員

募集時期　6～7月　**内容**　市民公益活動を推進するための市の施策のありかたについて審議し、市長に答申します。また市民公益促進補助金の審査や評価をします　**募集人数**　10 人。報酬は 1 回につき 7,000 円　**資格**　平日の午前 9 時から午後 5 時 30 分の間に開く会議に参加できる人で、市民公益活動に関心のある個人または市民公益活動団体の代表

◆ 市民活動支援センター運営委員会の委員紹介

支援センターの運営委員会が 5 月 13 日に開催され委員長、副委員長が決まりました。
○委員長　柴田忠克さん　○副委員長　浅田繁夫さん
○委員　乙田美砂子さん、福岡さとみさん、金釘豊弘さん、松尾茂樹さん
市民活動支援センターの円滑な運営を図るため設置している機関で、事業計画の検討及び事業実施上の諸問題について協議します。

発行：大阪狭山市市民活動支援センター
News Letter Express　発行責任者：氏川誠
〒589-0005　大阪狭山市狭山1-862-5　TEL072-366-4664
〔E/mail〕simin025@yacht.ocn.ne.jp
〔Home Page〕http://www12.ocn.ne.jp/~shimin025